

寄り添い つながる 広報誌

福祉 わかやま

11²⁰²³
月号
vol.434

この広報誌の発行に一部共同
募金助成金を利用しています。



今月の表紙

社会福祉法人
紀三福祉会
「週休3日制」を導入
(P2に関連記事)

特集
P2-4

福祉サービスの
質の向上は
“働きやすい
職場づくり”から

県社協の情報など
SNSで発信中



Facebook



Instagram



社会福祉法人 和歌山県社会福祉協議会

福祉サービスの質の向上は “働きやすい職場づくり”から

少子高齢化が急速に進んでいる現代社会。出生数が減少し、人口減少が進むに伴って、あらゆる産業での人材不足が懸念されています。

特に今後、2025年には団塊の世代が75歳以上、2040年には団塊ジュニア世代が65歳以上となり、介護サービスの需要が拡大していく中で、福祉・介護の分野における人材確保は喫緊の課題となっています。

今号では、県内の福祉・介護の事業所における人材確保とその定着に向けた取組について、“働きやすい職場づくり”をキーワードにご紹介します。

事例1



「週休3日制」で職員の ワーク・ライフ・バランスの充実を目指す ～社会福祉法人 紀三福社会～

職員の定着のための重要な要素の一つであるワーク・ライフ・バランス。その充実を目指して、令和5年10月から「週休3日制」を導入した社会福祉法人 紀三福社会の事務長 あきさき まさこ 明寄 真子さん にお話を伺いました。

① 「週休3日制」とはどのようなものですか？

1週間の総労働時間は変わらず40時間。1日の労働時間を8時間から10時間に増やすことで、出勤日を1日減らし、それを休日に充てるといったものです。これにより、年間の休日は162日になります。

楽しく、やりがいをもって働いています！



② なぜ、「週休3日制」を導入されたのですか？

「介護業界は休みが少なく大変」というイメージを変えたいという想いから、この仕組みを導入しました。

まずは対象を看護小規模多機能型居宅介護事業所の正規職員に限定して、試験的に実施しています。

③ 週休3日制のメリットは？

1日の勤務時間を延ばし、前後のシフト勤務者と重なる時間が増えたことで、申し送りの時間がとれるため、しっかりと引継ぎを行うことができます。

また、忙しい時間帯にシフトをかぶせることで、手厚い人員配置が可能になり、職員の負担も軽減されます。心に余裕が生まれることで、サービスの質の向上にもつながっています。

④ 今後の展開は？

この試験的な実施による効果を検証しながら、今後は法人内の他の事業所へも取組を広げていきたいと考えています。

仕事外での楽しみの時間や、自身のキャリアアップのために勉強する時間をもってもらい、プライベートと仕事を両立できる環境づくりを推進していきたいと考えています。

事例2



ICT機器の導入等により業務改善に取り組む ～社会福祉法人 紀伊福祉会～

介護事業所における業務改善とサービスの質の向上。ICT機器の導入等によりこれに取り組む社会福祉法人 紀伊福祉会の特別養護老人ホーム 紀伊てまり苑の施設長 森 典子^{もりのこ}さんにお話を伺いました。

① 業務改善のために導入したICT機器(見守り支援システム)はどのようなものですか？

ベッドに設置されたセンサーから、ベッドにいる人の位置・心拍数・呼吸数を感知し、入眠状況等を報告してくれるものです。入眠状況の一覧は、パソコンやタブレット端末で確認できます。



② ICT機器導入による職場への変化は？

利用者全員の入眠状況が常に把握できるようになり、夜間等の見回りや見守りにかかる時間が大幅に削減され、人員が少ない時間帯でも職員が安心して働ける環境が生まれています。機械に頼るところは頼り、声かけなど人ができる部分を充実させることで、心のこもった介護を提供したいと考えています。

③ 「働きやすい職場環境づくり」のために、意識していることはありますか？

こうした設備投資はもちろんですが、定期的な実践発表会等を実施し、業務の振り返りや今後の課題整理のための時間を設けています。

また、職員のモチベーションアップのために良好な関係づくりも大切にしています。声かけ一つとっても、「こうしてください」ではなく「こうしてみたらどうですか？」と提案する形で伝えたり、職員から出たポジティブな意見は意識して他の職員に伝えるようにしています。



3か月に1回、職員のスキルアップのため、実践発表会を実施

働きやすい職場環境は、職員のモチベーションを向上させるとともに、人材の定着、さらにはサービスの質の向上につながります。

また、それが事業所の強み(魅力)となり、新たな人材の確保にもつながっていくものと思います。

福祉の仕事に就きたい方を全力でサポート！



県福祉人材センター「ハートワーク」の取組

県福祉人材センター「ハートワーク」(以下、「福祉人材センター」という。)では、求職者への就労支援を無料で実施しています。

● 福祉職専門の相談員による就職のサポート

福祉人材センターは、福祉の仕事を中心に専門に取り扱う無料職業紹介所です。介護・保育の職場で勤務経験のある相談員がお一人おひとりのお話を丁寧に伺い、ご希望に合った就職に向けてしっかりサポートします。



◀職場体験・職場見学▶

福祉の仕事に対する理解を深めていただくために、職場体験や職場見学を実施しています。

入職前に事業所の雰囲気や実際の仕事内容を確認したうえでご自身に合った職場を見つけたい方に、おすすめしています。ご希望により相談員が同行することも可能です。

● 介護の就職セミナー

介護施設の種類や仕事内容等について、わかりやすく講義形式で説明します。

セミナー開催会場

◀紀北▶ ハローワーク和歌山(毎月実施)

◀紀南▶ ハローワーク田辺(2か月に1回実施)

● 出張相談 資格・お仕事・再就職等の総合的な相談に応じます。

相談日	時間	場所	お問合せ先
第2水曜	10～12時	ワークプラザ紀ノ川	福祉人材センター (TEL:073-435-5211)
第2木曜	10～12時	ハローワーク御坊	
第3火曜	13～15時	ハローワーク新宮	紀南福祉人材バンク (TEL:0739-26-4918)

※いずれも奇数月に開催

● 出前講座

県内中学校・高等学校等を対象に、福祉の仕事の魅力を知っていただくための出前講座を実施しています。

内容・プログラムは、ご希望に応じて調整させていただきます。



“働きやすい職場”のリアルを知る

福祉の職場見学会を開催しました！

9月27日(水)、実際の職場の雰囲気を感じることで、仕事への関心を高めていただくための見学会を和歌山市で開催しました。

当日は介護の仕事に関心をお持ちの方6名が参加。社会福祉法人 安原福祉会 あいの里デイサービスセンターと社会福祉法人 弘心会 特別養護老人ホームほうらい苑を訪問しました。

楽しそうにレクリエーションをする様子や、介護の負担を軽減する介助ロボット等が導入されている“働きやすい職場”を見学し、「介護の仕事」への理解を深めていただきました。



▲利用者と一緒にレクリエーション(あいの里デイサービスセンター)

◀身体への負担が少ない移乗サポートロボットを体験(特別養護老人ホームほうらい苑)

【お問合せ先】

県福祉人材センター「ハートワーク」
(福祉人材研修部 人材班)
TEL073-435-5211



Facebook



Instagram

福祉人材センターでは、SNSで福祉の仕事に関するお役立ち情報を随時お届けしています。ぜひフォローしてください！

令和5年度「成年後見制度出前講座」をご利用ください!

成年後見制度とは、認知症や知的障がい、精神障がいなどにより、判断能力の不十分な方が、地域で安心して暮らすことができるよう、権利と財産を守るしくみです。

和歌山県成年後見支援センターでは、広く多くの方に成年後見制度を理解していただく機会として、出前講座を開催しています。



実際の出前講座の様子

時間 30分～60分程度
平日9:00～17:00(※時間外・休日については要相談)

主な内容 成年後見制度の概要(制度の基本的な説明)
※個別の相談等、内容によっては他の関係機関をご案内させていただく場合がありますので、予め御了承ください。

対象 県内に所在する福祉関係事業所及び団体
※中核機関の設置がない市町村からの依頼を優先させていただきます。

中核機関とは…各市町村で相談対応や後見人候補者の調整等を行い、地域において成年後見制度の利用を促進するためのコーディネート役を担う機関。
市区町村直営または社会福祉協議会やNPOなどに運営を委託している。

費用 無料(会場費等は御負担願います。)

申込方法 実施希望日の1ヶ月前までに、所定の申込書により、FAXまたはメールでお申し込みください。まずは、お気軽にご相談ください。

お申込み・お問い合わせ先

県成年後見支援センター(県社協内) TEL073-435-5248 FAX073-435-5221 E-mail:kenri@wakayamakenshakyo.or.jp

ソウェルクラブ

(福利厚生センター)ご加入のおすすめ

新規会員
募集中!

会員数 約270,000人 /

職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

職員の万が一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア、ダイワロイヤルホテルズ
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- 国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈
- メンタルヘルス講習会
- 接遇講習会
- ハラスメント防止講習会
- e-ラーニング
(Excel、Word、PowerPoint、コンプライアンス、メンタルヘルス)

国内外20万件以上の施設やサービスを会員価格で利用できる

- ソウェルクラブ「クラブオフ」

職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業を営業者
- ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業
- ・加入対象者…上記事業に従事する役員全員(非常勤職員含む)

掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
 - ・第2種会員(非常勤職員向け) …… 毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。



加入申し込み、お問い合わせは、
フリーダイヤル
TEL ☎0120-292-711
FAX ☎0120-292-722
<https://www.sowel.or.jp/>



社会福祉法人 福利厚生センター
〒101-0052
東京都千代田区神田小川町1-3-1
NBF小川町ビルディング

子育て・学校での悩みを地域全体で 全力サポート!



くまのっ子 児童家庭支援センター のこのこ

のこのこでは、幼少期から高校を卒業するまでの子どもたちとその家庭を支援しており、学校などの地域の協力機関と連携し、いじめや不登校、引きこもりなどの課題解決に向けた活動を行っています。

今回、同センター長であるふじやぶ藤敷よしいち庸一さんに話をお伺いしました。

お問合せ先
〒649-2211 西牟婁郡白浜町1番地の1
E-mail nokonokojikasen@gmail.com
TEL0739-42-5515

地域の児童家庭支援の拠点

「のこのこ」は、今年の5月に児童福祉法に基づいて設置された和歌山市に次いで県内2カ所目となる児童家庭支援センターです。活動範囲はみなべ町から新宮市、北山村まで(紀南エリア)です。

当センターは、1979年から白浜町の三段壁で人命救助や自殺防止、社会復帰支援の活動を続けている藤敷さんが理事長を務める「NPO 法人白浜レスキューネットワーク」が和歌山県の認可を受けて運営しています。

頼れる専門スタッフが対応

臨床心理士や社会福祉士などの専門職や元教員といった専門的な知見や経験をもった職員による対応や行政・学校、社協等の関係機関と連携し、相談者の悩みや課題に向き合っています。実際に不登校や育児の悩み相談では臨床心理士と学校へ訪問し、授業の様子や先生の話、家族にも話を聞き、その子の課題や解決の糸口を見つけるといった、一人ひとりにあった支援を

心がけて活動しています。

大人になっていく過程の大切さ

NPO法人で自殺防止活動に長年関わってきた経験から、支えが必要な人の多くは幼少期から学生時代といった人生の中では初期にあたる部分に課題があったケースが多くあります。その初期において子どもが長い時間を過ごす学校での学習支援、食育や生活支援といった家庭の場、両方の支援をNPO法人の活動と一体的におこなっていく事が大切になります。

まずは認知・信頼してもらう

核家族化やプライバシー保護の重要性などの社会変化の影響を受け、家庭に周りの人が関わりを持つことが難しくなっています。「のこのこ」では家庭が孤立せず、つながりを持ちつづけるために公的な機関として頼れる場所があることをまず知ってもらい、相談には地道に真摯な対応を続けていくことで信頼されるよう日々関わりたいと考えています。

個々の問題を地域の課題として考え、地域が明るく元気になっていくような家庭支援センターとして、今後成長していきたいよう努力します。

——ご相談について——
くまのっ子 児童家庭センター のこのこ
ホームページをご覧ください。




紀の国いきいき健康長寿祭 シルバー美術展

(兼:第36回全国健康福祉祭とっとり大会(ねりんピックはばたけ鳥取2024) 出品作品選考会) **作品募集**

会期・会場 令和6年2月29日(木)～3月3日(日) 10:00～16:30
和歌山県民文化会館1階大展示室
※作品の搬入・搬出の日時及び場所は、申込書類をお取り寄せいただき、ご確認ください。

出品資格 県内在住(昭和40年4月1日以前に生まれた人)のアマチュアが制作した作品で日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の出品を募集します。
個人作品(共同作品は不可)

テーマ 自由

出品料 無料

出品条件 作品は、出品者による令和5年3月から出品申込期限までの間に創作した未発表作品。
出品規格に合った作品を一人につき1点とします。
2部門にわたっての出品はできません。

申込期限 令和6年1月12日(金) 期日厳守

お問合せ・申込先

最寄りの市町村社会福祉協議会、もしくは和歌山県社会福祉協議会(TEL073-435-5214)にお問い合わせください。



今月の情報発信コーナー

令和5年度「ふれあい作品展」開催!

老人福祉施設及び介護保険施設等を利用されている方々が制作した作品を展示します

老人福祉施設や介護保険施設等を利用されている方々に、創造力を高め文化活動への参加を促すとともに、多くの方々とふれあいや生きがいがいづくりに繋げていけるよう開催します。

数カ月間かけて制作する作品や、共同で制作する作品、また個人で制作した作品など、毎年それぞれ工夫を凝らした素晴らしい作品を展示しています。

豊かな発想で制作された作品は、心に『やすらぎ』を与えてくれます。

会期 11月25日(土)～11月28日(火)
10:00～17:00

会場 和歌山ビッグ愛1階「展示ホール」



日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料(1名あたり)

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円			
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額		6,500円			
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円		
		外来の手術		32,500円		
	通院保険金日額		4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*)			初日から補償	
賠償責任	地震・噴火・津波による死傷		×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)			
年間保険料			350円	500円	550円	

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667
受付時間: 平日の9:30～17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

申込受付中

福祉人材キャリア形成支援研修

研修名	開催日時	会場	受講申込期限
メンタルヘルス研修	11月30日(木) 10:25~16:00	ビッグ・ユー (田辺市)	11月9日 (木)
社会福祉援助技術の基礎研修	12月7日(木) 10:25~16:00	和歌山 ビッグ愛	11月16日 (木)
福祉レクリエーション研修	12月12日(火) 10:25~16:00	和歌山 ビッグ愛	11月21日 (火)
面接技法とアセスメント力の向上研修	12月14日(木) 10:25~16:00	和歌山 ビッグ愛	11月22日 (水)
キャリアパス対応生涯研修 (チームリーダー研修)	1月24日(水) 9:55~17:00 1月25日(木) 9:25~16:40	和歌山 ビッグ愛	11月30日 (木)
カスタマーハラスメント対策研修	1月18日(木) 10:25~16:00	和歌山 ビッグ愛	12月25日 (月)
認知症ケア研修 (初任者編) オンデマンド配信	申込時から11月30日(木) までの期間内であれば、いつでも視聴いただけます。		11月29日 (水)

- ※研修の受講には、受講料がかかります。
- ※定員(先着)になり次第締め切ります。
- ※県社協会員は、会員価格で受講いただけます。
- ※詳細は県社協ホームページをご覧ください。
- ※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、中止になる場合があります。



【お問合せ先】

県福祉人材センター「ハートワーク」(県社協内)
TEL073-435-5210

イチオシは天然酵母パン

“ふくし”にまつわる



haruの手作りパン



社会福祉法人きのかわ福祉会のナチュラルベーカリー haruでは、天然酵母を使用したパンや季節のこだわり食材を取り入れたパンを製造・販売しています。

以前は移動販売のみでしたが、平成30年に店舗を開設。新メニューの考案から製造、販売まで“できることはやってみる、できないことは職員がサポートする”をモットーにされています。

木目を基調にした店舗には、利用者さんが丁寧に焼き上げたできたてのパンがたくさん並んでおり、つぶら



な瞳と愛くるしいフォルムのハリネズミパンは、中のチョコレートともちりしたパン生地の相性が抜群でした。

顔なじみのお客様も多く、地域に愛される手作りパンのお店、一度訪れてみてください。

社会福祉法人 きのかわ福祉会
きのかわ共同作業所(就労継続支援B型事業所)

製造・販売

ナチュラルベーカリー haru

住所 岩出市川尻22-3
TEL 0736-63-1230
OPEN 10:00~15:00



【今年度共同募金目標額】

1億3,334万円

【助成の決定】

10月から翌年3月までの間に寄せられた寄付金をもって助成をします。
助成決定は3月末の予定です。

お問合せ先

社会福祉法人和歌山県共同募金会
〒640-8319 和歌山市手平2丁目1-2
県民交流プラザ和歌山ビッグ愛7階
TEL073-435-5231 FAX073-435-5232

メール info@akaihane-wakayama.or.jp
HP https://www.akaihane-wakayama.or.jp/



10月7日(土)わかやま商工まつりで、Fun×Famに募金活動を行っていただきました。

赤い羽根 わかやま



県民の皆様には、赤い羽根共同募金運動にご協力を賜り誠にありがとうございます。助成申請のご要望にお応えしていくための原資となるのは募金です。つながりをたやさない社会づくりのために、皆様からのご寄付を必要とします。戸別募金、職場での募金、街頭募金など皆様のご協力をより多くお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金ご協力のお願い

